

平成30年度事業報告書

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

特定非営利活動法人 日本モトシヨク

1 事業実施の成果

法人設立以来6年間続けてきた農的活動が、我々の活動の脇役から主役になる転換点の年だった。耕作放棄地を再生し、ソバや大麦を栽培してきた。岡山市北区御津草生の預かり圃場で様々な失敗をしてきた。そして今期もソバ「サチイズミ」の草生圃場での栽培は、9月の長雨で失敗した。もち性2条大麦「キラリモチ」にかんしては、玉柏の圃場で順調に育っている。

蕎麦の「小さな6次産業化」は、11月、12月の2ヶ月限定で岡山市北区足守715の「産直販売所兼蕎麦処 三昧庵」にて試験営業をおこなった。岡山市の地域活力創出事業に申請を行い「事業名：大麦による特産品作り、産直販売所兼蕎麦処のテスト販売」が採択され、その事業実施により実現した。この流れから岡山市の「地域の未来づくり事業」へと繋がって「地域の未来づくり」計画名：農業と福祉の連携による「小さな6次産業」の起業と身の丈にあった売れる商品作りの採択に至った。今期のこの二つの岡山市による事業採択で、我々の「小さな6次産業化」は、いよいよ船出をすることになった。

もち麦に関しては、昨年草生圃場で無農薬・無化学肥料で栽培したものを100kg以上収穫した。あいにく乾燥と保管をお願いした徳田農機でコクゾウムシにやられた。その結果、実販売については断念し、就労支援施設「ももぞの学園」での試作をおこなった。「まんまもち麦パフ」として、私たちが表彰された岡山市の「まちづくり賞」の会場で試食品として無償配布した。蛇足ながら「まちづくり賞」は奨励賞をいただいた。

特定非営利活動として掲げている(1)保健、医療または福祉の増進を図る活動について、現在明確に事業化をしていない。今後の活動において関係性を構築する就労支援施設「ハローファクトリー」「ももぞの学園」は、非常に旧式ながら製菓用生産設備とヒトを保有している。主体が障害者を利用者として預かり介助しながらの菓子作りなので、到底営利活動とは距離のある状況だ。現在の就労支援事業所に対する国の事業補助のスタンスは、支払い賃金の額に応じて累進的に補助金を増やすというスタンスらしい。今後我々との関係において、いくばくなくとも賃金アップに貢献していきたいと考えている。

現在、足守の近水園ちかくで三昧庵は週末蕎麦屋として営業している。かつての観光地は、春秋の観光シーズン以外は、人通りが少なく寂れた地域だ。今後、こちらの地域おこしも絡んでいく。

2 事業の実施に関する事項

特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
① 日本素食メニューの開発とレシピ普及事業	広く活動を告知するために、ホームページを開発する。その中で実施事業もあわせて紹介していく。	実施せず				
② 癌の回復期に患者が集う群衆抗癌の施設の建設と支援事業	中山間地域の豊かな自然と環境の中、様々なストレス要因の除去が可能な場所の選定。及び、施設の確保を行う。	実施せず				
③ 上海癌回復学校への参加支援と交流事業	上海癌回復学校の訪問と、癌と向き合う中国の癌患者との交流事業	実施せず				
④ 緊急支援物資(ベジタリアン用)開発と外注生産及び備蓄と支援事業		実施せず				
⑤ 無農薬作物の生産及び販売支援を中心とした地域経済振興事業	高βグルガン大麦「キラリモチ」の栽培、利用事業	11月播種 6月収穫、脱穀 8月草刈、耕運	御津草生圃場	5名	8名	78
⑥ 命をはぐくむ免疫力・抗酸化力をキーワードにした健康講座	地産地消&蕎麦打ち体験セミナーを自主開催した。	毎月2回程度	岡山市立御津公民館	1名	岡山56名	113
⑦ 台湾素食商品(災害支援寄付金込み)の輸入販売事業	精進素食の先進国である台湾素食商品を輸入し、災害支援寄付金商品として販売支援。	実施せず				
⑧ 中山間地域を活性化させる6次産業化事業	蕎麦処三味庵を北区足守にて試験営業	11, 12月	北区足守三味庵	2名	来店者20名	45
⑨ 素食、中医診断体験ツアー事業	自分の体質を知るために上海、台湾で中医師の診断を受ける参加者を支援。併せて素食文化を体験する。	今期は実施せず				
⑩ 協業ネットワーク構築による都市部と農山漁村の連携事業	就労支援施設との協業で大麦を利用し、製品試作を行った。	9月11月各2回	ももぞの福祉園	1名	就労者10名	9

平成30年度 活動計算書

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

特定非営利活動法人日本モトシヨク
(単位：円)

科目	金額	
I 経常収益		
1. 受取会費		
正会員受取会費	24,000	
賛助会員受取会費	6,000	
.....		30,000
2. 受取寄附金		
受取寄附金(理事長よりの寄付)	100,000	
施設等受入評価益		
.....		100,000
3. 受取助成金等		
受取民間助成金	0	
銀行借入金		
4. 事業収益		
蕎麦打ち教室参加材料費	63,000	
地産地消イベント参加材料費	7,000	
老人介護施設蕎麦打ちイベント材料費	15,000	
.....		85,000
5. その他収益		
経常収益計		215,000
II 経常費用		
1. 事業費		
(1) 人件費		
給料手当		
法定福利費		
退職給付費用		
人件費計	0	
(2) その他経費		
農業用燃料費	53,909	
大麦種子購入費(農研機構)	24,000	
三味庵営業副材料費	43,454	
足守地域に関する資料代	2,000	
購入ソバ粉代	113,502	
食品衛生責任者講習会受講料	8,000	
その他経費計	244,865	
事業費計		244,865
2. 管理費		
(1) 人件費		
役員報酬	0	
給料手当	0	
法定福利費	0	
人件費計	0	
(2) その他経費		
三味庵光熱水費	21,791	
水利費	650	
印紙代(三味庵食品衛生検査代)	16,000	
運送費(大麦精麦先へ)	5,337	
滞納なし証明発行費	1,200	
通信費	1,020	
その他経費計	45,998	
管理費計		45,998
経常費用計		290,863
当期経常増減額		-75,863
III 経常外収益		
1. 固定資産売却益		0
経常外収益計		0
IV 経常外費用		
1. 過年度損益修正損		0
経常外費用計		0
当期正味財産増減額		-75,863
前期繰越正味財産額		334,298
次期繰越正味財産額		258,435

平成30年度 貸借対照表

平成31年3月31日作成

特定非営利活動法人日本モトシヨク

(単位：円)

科目	金額	
I 資産の部		
1. 流動資産		0
現金預金	258,435	
未収金	0	
流動資産合計	258,435	
2. 固定資産		
(1) 有形固定資産		0
有形固定資産計		0
(2) 無形固定資産		0
無形固定資産計		0
(3) 投資その他の資産		0
敷金		0
〇〇特定資産		0
投資その他の資産計		0
固定資産合計		0
資産合計	258,435	258,435
II 負債の部		
1. 流動負債		0
未払金		0
前受民間助成金		0
短期借入金		0
流動負債合計		0
2. 固定負債		0
長期借入金		0
退職給付引当金		0
固定負債合計		0
負債合計		0
III 正味財産の部		
前期繰越正味財産	334,298	
当期正味財産増減額	-75,863	
正味財産合計		258,435
負債及び正味財産合計		258,435

様式例（法第28条第1項「前事業年度の計算書類（計算書類の注記）」）
計算書類の注記

1 重要な会計方針

計算書類の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日 2011年11月20日一部改正
NPO法人会計基準協議会)によっています。

様式例（法第28条第1項「前事業年度の財産目録」）

財産目録

平成31年03月31日現在

特定非営利活動法人日本モトシヨク
(単位：円)

科目		金額	
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金		258,435	
未収金			
流動資産合計		258,435	
2. 固定資産			
(1) 有形固定資産			
什器備品			
有形固定資産計			
(2) 無形固定資産			
無形固定資産計			
(3) 投資その他の資産			
投資その他の資産計			
固定資産合計		0	
資産合計		258,435	
II 負債の部			
1. 流動負債			
短期借入金		0	
預り金		0	
流動負債合計		0	
2. 固定負債		0	
固定負債合計		0	
負債合計		0	
正味財産		258,435	

前事業年度の年間役員名簿

(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

特定非営利活動法人日本モトシヨク

役職名	氏 名	住 所 又 は 居 所	任 期	報酬の有無
理事長	景山 勝巳		自 平成30年4月1日 至平成31年3月31日	報酬なし
副理事長	芝根 秀和		自 平成30年4月1日 至平成31年3月31日	報酬なし
理事	須々木 元三郎		自 平成30年4月1日 至平成31年3月31日	報酬なし
監 事	今中 悦子		自 平成30年4月1日 至平成31年3月31日	報酬なし